



2025 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 AHCグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒木 喜貴
(コード番号：7083 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 武藤 輝一
(TEL 03-6240-9550)

2025 年 11 月期 第 2 四半期(累計)の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025 年 1 月 17 日に公表いたしました 2025 年 11 月期 第 2 四半期(累計)の業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 11 月期 第 2 四半期(累計)業績予想数値と実績との差異

(1) 2025 年 11 月期 第 2 四半期累計連結業績予想と実績との差異(2024 年 12 月 1 日～2025 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,195	百万円 16	百万円 13	百万円 △2	円 銭 △1.02
実績値(B)	3,258	22	38	14	6.71
増減額(B－A)	62	6	25	15	
増減率(%)	2.0%	39.3%	197.0%	－	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2024 年 11 月期第 2 四半期)	3,096	72	97	52	25.17

(2) 2025 年 11 月期 第 2 四半期累計個別業績予想と実績との差異(2024 年 12 月 1 日～2025 年 5 月 31 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,853	百万円 △1	百万円 △3	円 銭 △1.90
実績値(B)	1,862	26	14	7.06
増減額(B－A)	8	28	18	
増減率(%)	0.5%	－	－	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2024 年 11 月期第 2 四半期)	1,790	96	60	28.83

2. 差異の理由

(1) 2025 年 11 月期 第2四半期累計連結業績予想と実績との差異

福祉事業では利用者数が予想に対して 2.4%減少したものの、有資格者の採用が進み報酬単価が増加し、売上高はおおむね予想通りに推移いたしました。介護事業では閉鎖した事業所の影響及び利用キャンセルが想定を上回り、利用者数が予想に対して 2.9%減少し、売上高は予想に対して 2.4%下回りました。外食事業では客数が予想に対して 1.1%減少したものの、メニュー変更等により客単価が増加いたしました。また、加工・物流において外部取引量が増加したため売上高は 11.6%上回りました。

営業利益につきましては、売上高の増加に加えて、人件費や食材費等の物価高騰を考慮した計画としていましたが、売上原価、販売費及び一般管理費が抑えることができたため、予想数値を上回る結果となりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加えて、物価高騰に対する助成金が 17 百万円あり、予想数値を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前記理由により予想数値を上回る結果となりました。

2025 年 11 月期の通期連結業績予想につきましては、今後の新規開設費用や物価の高騰による売上原価・一般販管費の影響が見込まれるものの、福祉事業及び外食事業の売上高が好調に推移していることから業績予想を据え置いております。なお、今後の事業環境や業績推移の進捗によって、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

(2) 2025 年 11 月期 第2四半期累計個別業績予想と実績との差異

連結業績予想の差異の理由と同様、福祉事業では利用者数が予想に対して 2.6%減少したものの、有資格者の採用が進み報酬単価が増加いたしました。外食事業では客数が予想に対して 1.1%減少したものの、メニュー変更等により客単価が増加いたしました。これらにより売上高は予想数値を上回る結果となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加に加えて、人件費や食材費等の物価高騰を考慮した計画としていましたが、売上原価、販売費及び一般管理費が抑えることができたため、予想数値を上回る結果となりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加えて、助成金などが 12 百万円あり、予想数値を上回る結果となりました。

四半期純利益につきましては、前記理由により予想数値を上回る結果となりました。

2025 年 11 月期の通期個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由により、業績予想を据え置いております。

以 上